



BELLUNA

証券コード：9997

お客様の衣食住遊を豊かにする

Interim Business Report

株式会社ベルーナ

第42期中間株主通信

2017年4月1日～2017年9月30日



第三次経営計画は順調に推移。 “通信販売総合商社”として 着実に成長を続けています。

代表取締役社長 安野 清



■ 当社グループを取り巻く環境

当第2四半期の国内経済は、緩やかな回復基調で推移していますが、海外の政治・経済情勢などによって先行きは不透明な状況です。通信販売業界では、市場は拡大基調にあるものの、個人消費の節約志向は根強く、価格競争も激化するなど、依然として厳しい状況が続いています。

■ 当期の概況

当第2四半期の連結売上高は748.6億円(前年同期比12.3%増)となりました。営業利益は総合通販事業での増益や店舗販売事業での収益性改善などが奏功した結果、42.3億円(同34.5%増)となりました。営業利益の増加に加え、為替関連差益などが発生したことに伴い、経常利益

は55.3億円(前年同期は経常損失8.0億円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は43.3億円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失8.2億円)となりました。

財政状態については、建設仮勘定が前期末比で61.6億円余り増加したことなどから、総資産は82.8億円増加し、1,873.0億円となりました。一方で負債は長期および短期の借入金が増加したことなどによって、62.7億円増の975.2億円となりました。これらの結果、純資産は20.1億円増加して897.8億円となり、自己資本比率は47.4%となりました。

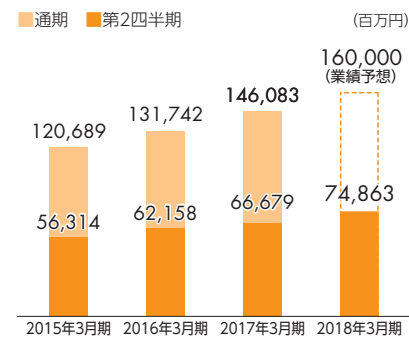
トフォリオの成熟に向けたプロパティ事業の強化」という4つの基本戦略はいずれも順調に進捗しており、“通信販売総合商社”としての進化と成長を着実に遂げつつあります。総合通販事業では衣料品や家具雑貨などの販売が好調に推移し、専門通販事業でもグルメ事業などが成長を続けています。最終年度の数値目標である売上高1,600億円、営業利益160億円、ROE8.0%以上の達成を目指し、引き続き様々な施策を積極的に展開してまいります。

■ 通期の見通し

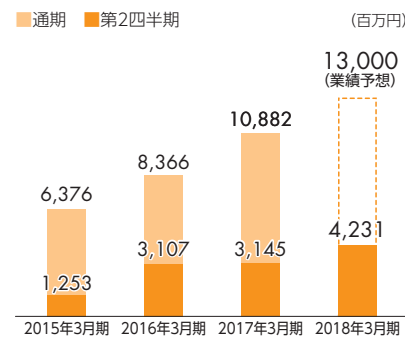
今後も事業環境は堅調に推移するとみており、2018年3月期の通期業績については、期初予想から変更なく、売上高1,600億円(前期比9.5%増)・営業利益130億円(同19.5%増)・経常利益135億円(同10.8%増)・親会社株主に帰属する当期純利益88億円(同51.6%増)を見込んでいます。第三次経営計画の2年目を計画通りに着地させることで、最終年度での目標達成につなげたいと考えています。

Financial Highlights 財務ハイライト

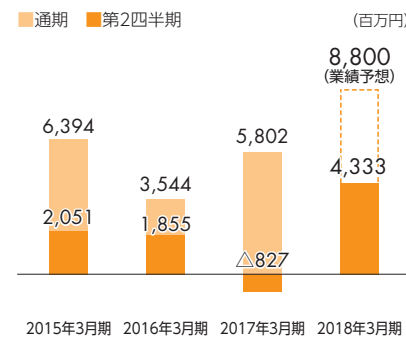
■ 売上高



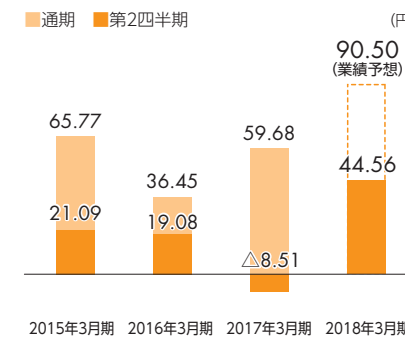
■ 営業利益



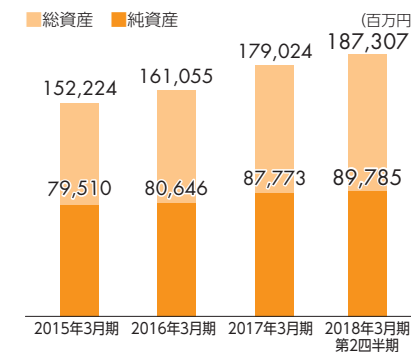
■ 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



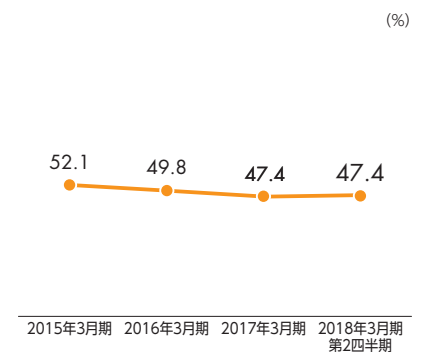
■ 1株当たり四半期(当期)純利益



■ 総資産・純資産



■ 自己資本比率



■ 株主還元について

当社は、企業価値の向上を通じて株主の皆様の日ごろのご支援に報いることを重要な方針として考えています。また、業績の状況および中期的な成長のための戦略的投資を勘案しながら、安定的な配当を実施していく所存です。これらの基本的考えの下、当第2四半期末の配当金は1株につき前年同期と同額の6.25円とさせていただきます(詳細についてはP8をご参照願います)。

また、このたび株主優待制度を拡充し、昨夏オープンしたホテル「ルグラン旧軽井沢」の宿泊優待券を新たに贈呈させていただくことといたしました。当ホテルは旧軽井沢

エリアで唯一の天然温泉露天風呂を備えたクラシックホテルで、軽井沢駅から徒歩15分、旧軽井沢銀座まで徒歩6分と、観光やショッピングの拠点として大変良いロケーションとなっています。この機会に是非ご利用いただければ幸いです。

これからも創業以来の方針である「顧客志向・顧客密着」を忠実に守り、お客様の衣食住遊を豊かにする商品・サービスを時代のニーズに合った形で提供し続け、多くのお客様に支持される企業を目指してまいります。今後とも当社グループへの変変わぬご支援を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

Business Model ビジネスモデル

複数事業のシナジー効果で、高い成長性と収益性の実現を目指す

“通信販売総合商社”

1. 総合通販で培った「顧客データベース」を活用し、専門通販・受託などの【データベース関連事業】で安定した収益基盤を作る
2. 更に、卸売や店舗などの【新たな事業】群でプラスαの収益を生む
3. 海外展開などのチャレンジも戦略的に行い、次なる成長の芽を育てる



Focus! 専門通販で国内No.1

2つの専門通販サイトが国内No.1を獲得!



「旨い酒が飲みたい」が日本酒通販No.1!

日本酒、焼酎は利酒師が厳選!

大吟醸や純米大吟醸など全国120ヶ所以上の蔵から集めた品揃え!

日本酒通販の「旨い酒が飲みたい」が、東京商工リサーチの「国内日本酒通販市場シェアに関する調査」で、2016年度の通販国内売上高1位を獲得しました。

「旨い酒が飲みたい」は、全国120以上の蔵元から利酒師が厳選したお酒を、独自の流通形態により低価格で販売していることが特徴で、2016年度売上高は前年比48%増の12億円を達成、国内売上高1位の座を獲得しました。2017年度売上高は20億円(前年比約60%増)を見込んでおり、国内日本酒通販市場をけん引していくことを目指します。当社は今後も、“お客様の衣食住遊を豊かにする商品やサービスの提供”という経営理念の下、こだわりの美味しいお手頃な日本酒などを今後も提供し続けてまいります。



「My Wine CLUB」が9年連続ワイン通販国内No.1!

ソムリエ監修のワインのみ取扱い。高品質でリーズナブル!

直輸入で全世界から直接買い付け。輸入ワインは1本からでも送料無料!

ワイン専門通販「My Wine CLUB (マイワインクラブ)」が、9年連続でワイン通販の国内売上高1位に輝きました。東京商工リサーチが実施した2017年度の「国内ワイン通販市場シェアに関する調査」の結果によるもので、2016年度と同サイトの売上高は30億6,300万円となり、国内のワイン通販市場において9年連続ナンバーワンに輝きました。

マイワインクラブは世界17カ国から輸入した約2,700種のワインをカタログやウェブサイト経由で販売。現地ワイナリーからの直接買い付けなどによって低価格を実現する一方で品質管理にも徹底的にこだわっている点などが高く評価され、年間輸入数量は約360万本に達しています。



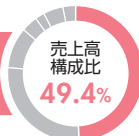
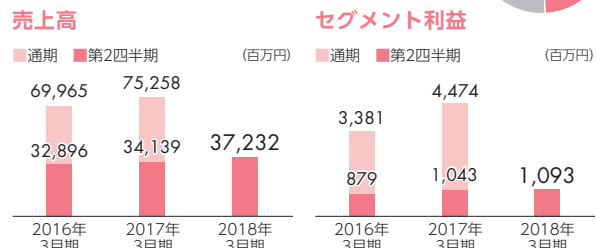
Summary of Consolidated Results 連結業績の概況

総合通販事業

カタログやインターネットなどを媒体とする衣料品・生活雑貨・家具等生活関連商品の販売および関連事業



衣料品・家具雑貨等の売上が好調で、売上高は372.3億円(同9.1%増)となりました。また、セグメント利益は増収効果に加えて媒体費率の改善もあり、10.9億円(同4.8%増)となりました。

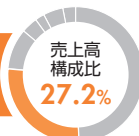
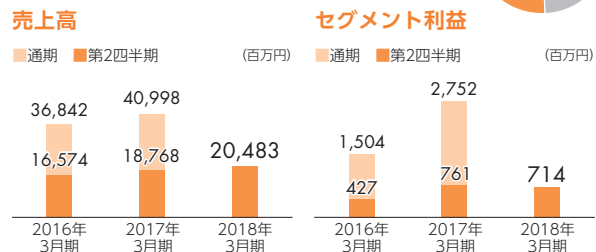


専門通販事業

食料品・化粧品・健康食品の販売など、特定のお客様を対象として専門的に商品を販売している事業



グルメ事業の売上が好調だったことにより、売上高は204.8億円(同9.1%増)となりましたが、健康食品事業・化粧品事業等での積極的な広告展開により、セグメント利益は7.1億円(同6.1%減)となりました。

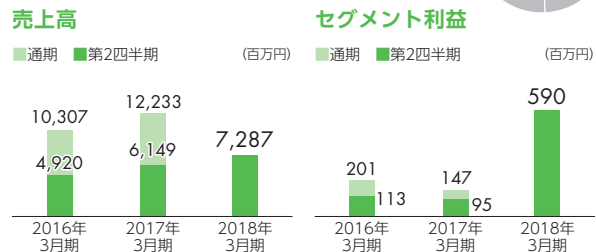


店舗販売事業

衣料品・和装関連商品等の店舗販売事業



アパレル店舗事業・和装店舗事業共に順調に売上を伸ばしたことで、売上高は72.8億円(同18.5%増)となりました。セグメント利益も不採算店の閉鎖及び収益性の強化により5.9億円(同517.7%増)となりました。



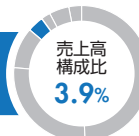
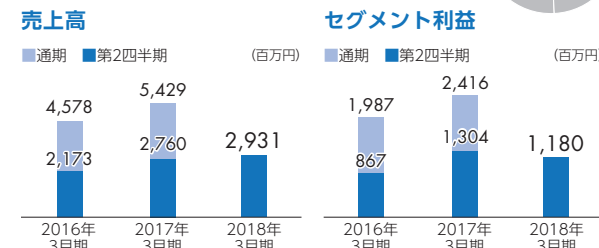
※株式会社マイムは当期より店舗販売事業からその他の事業に区分変更しています。

ソリューション事業

封入・同送サービスや通販代行サービスなど、当社グループのデータベースやインフラを活用した受託事業



通販代行サービスは堅調に推移したものの、大口クライアントの取引縮小で封入・同梱サービスが苦戦したことにより、売上高は29.3億円(同6.2%増)、セグメント利益は11.8億円(同9.5%減)となりました。

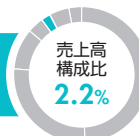
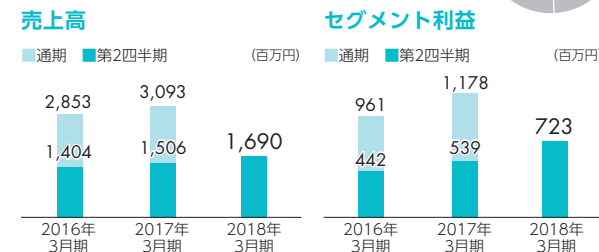


ファイナンス事業

通信販売事業の顧客を中心に展開するB to Cファイナンス事業



国内消費者金融事業の貸付金残高を伸ばしたことにより、売上高は16.9億円(同12.2%増)、セグメント利益は7.2億円(同34.1%増)となりました。

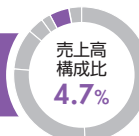
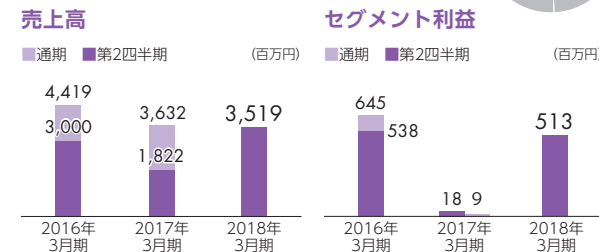


プロパティ事業

オフィスビルなどの賃貸および再生・開発を手掛ける不動産事業、およびホテル事業



販売用不動産の売却及びホテル事業の売上が貢献し、売上高は35.1億円(同93.1%増)となり、セグメント利益は5.1億円(前年同期はセグメント利益0.18億円)となりました。



株主優待制度を拡充

当社は、株主の皆様の日頃のご支援に感謝の意を表するとともに、より多くの株主様に当社の事業に対するご理解を深めていただくことを目的として、株主優待制度を拡充いたしました。従来、当社運営の通信販売^{*1}で使用できる優待券、自社取扱の食品またはワインのいずれかをご選択のうえ贈呈しておりましたが、この度ベルーナネット (<https://belluna.jp/>) で使用できる優待クーポンを追加し、いずれかをご選択のうえご利用いただけますように拡充いたします。また、従来、「裏磐梯レイクリゾート(旧裏磐梯猫魔ホテル)」で利用できる宿泊優待券を贈呈しておりましたが、この度「ルグラン旧軽井沢」で利用できる宿泊優待券を追加いたします。変更後の株主優待制度の適用開始時期は、2017年9月30日現在の株主名簿に記載または記録された当社株式 100 株(1単元)以上保有の株主様への株主優待(2017年12月上旬発行予定分)を対象として適用いたします。

※ルグラン旧軽井沢の宿泊優待券は、年1回(12月上旬発行分)のみの贈呈となります。

株主優待内容

1 優待券、優待クーポンまたは自社取扱商品から選択

①当社運営の通信販売で使用できる優待券 ②ベルーナネットで使用する優待クーポン ③自社取扱の食品またはワイン

2 「裏磐梯レイクリゾート(旧裏磐梯猫魔ホテル)」で利用できる宿泊優待券

3 「ルグラン旧軽井沢」で利用できる宿泊優待券^{*3}

保有株式数	1 優待券または自社取扱商品から選択	2 裏磐梯レイクリゾート優待券	3 ルグラン旧軽井沢優待券
100株以上 500株未満	①1,000円分の通信販売 ^{*1} 優待券 ②1,000円分のネット専用優待クーポン ③1,000円相当の自社取扱の食品 またはワイン ^{*2}	宿泊優待券1枚	宿泊優待券1枚
500株以上 1,000株未満	①3,000円分の通信販売 ^{*1} 優待券 ②3,000円分のネット専用優待クーポン ③3,000円相当の自社取扱の食品 またはワイン ^{*2}	宿泊優待券2枚	宿泊優待券1枚
1,000株以上	①5,000円分の通信販売 ^{*1} 優待券 ②5,000円分のネット専用優待クーポン ③5,000円相当の自社取扱の食品 またはワイン ^{*2}	宿泊優待券4枚	宿泊優待券1枚

※1 衣料品、生活雑貨、家具等を販売する総合通販でご利用いただけます。

※2 自社取扱の食品またはワインは、当社が選定した商品をお送りいたします。商品をカタログから選ぶことはできません。

※3 ルグラン旧軽井沢の宿泊優待券は、年1回(12月上旬発行分)のみの贈呈となります。

※4 株主優待のご利用方法の詳細については、贈呈時にご案内いたします。

発送時期・有効期限

	発送時期	有効期限
中間	12月上旬	12月1日～6月30日
期末	6月下旬	7月1日～12月31日

対象となる株主様

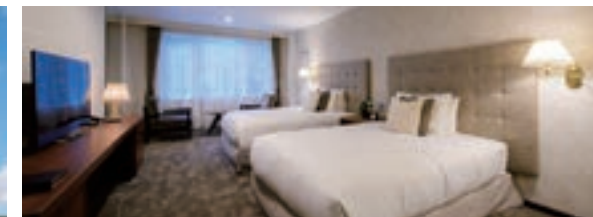
毎年3月末および9月末の株主名簿に記載または記録された当社株式100株(1単元)以上保有の株主様

ルグラン旧軽井沢のご紹介

<http://legrand-karuizawa.jp>

軽井沢駅から徒歩15分。旧軽銀座まで徒歩6分。目抜き通り沿いに位置しながら自然に囲まれたルグラン旧軽井沢は、観光・ショッピングの拠点にも最適な立地です。

- 2016年7月オープン。旧軽井沢エリア唯一の天然温泉露天風呂を備えたクラシックホテル
- 開放感のあるオープンキッチンでは地元の新鮮な食材を使用し、四季折々の旬の味わいが楽しめる
- 温泉は岩手県花巻南温泉峡の源泉「山の神温泉」のお湯を直送しており、「美肌の湯」として有名



ルグラン旧軽井沢 〒389-0102 長野県北佐久郡軽井沢町大字軽井沢469-4

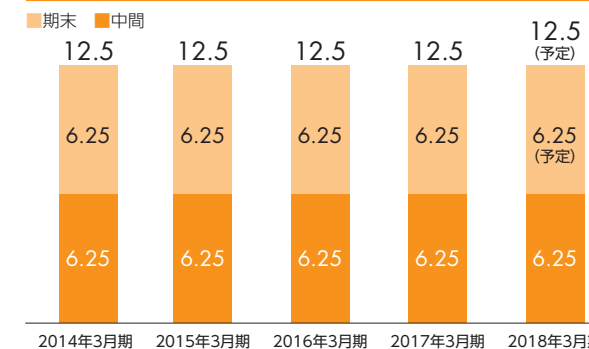
当社は、企業価値の向上を通じて株主の皆様の日ごろのご支援に報いることを重要な方針として考えています。配当は年に2回、9月30日および3月31日*までに株主となっていた方に、保有株数に応じて中間配当金および利益配当金をお支払いしています。

2018年3月期中間期におきましては、1株当たり6.25円の中間配当を実施いたします。なお期末配当金につきましても1株当たり6.25円とし年間12.5円を予定しています。

今後も、業績の状況および中期的な成長のための戦略的な投資を勘案した上で、安定的な配当を実現してまいります。

※約定日ベースでは3月31日の5営業日前、9月30日の4営業日前となります。

1株当たり配当金の推移(円)



第2四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 2017年3月31日現在	当第2四半期 連結会計期間 2017年9月30日現在
資産の部		
流動資産	84,792	85,734
固定資産	94,231	101,573
有形固定資産	64,258	70,779
無形固定資産	12,876	12,671
投資その他の資産	17,096	18,122
1 資産合計	179,024	187,307
負債・純資産の部		
流動負債	40,352	45,635
固定負債	50,898	51,886
2 負債合計	91,251	97,522
株主資本	84,969	88,634
資本金	10,607	10,607
資本剰余金	11,002	10,943
利益剰余金	63,359	67,084
自己株式	△0	△0
その他の包括利益累計額	△95	154
非支配株主持分	2,899	996
純資産合計	87,773	89,785
負債純資産合計	179,024	187,307

(百万円未満を切り捨てて表示しています。)

POINT

- 1 資産合計**
前期末に比べ8,283百万円増加しました。これは主に、現金及び預金が減少した一方で、受取手形及び売掛金、営業貸付金、建設仮勘定、投資有価証券が増加したことなどによるものです。
- 2 負債合計**
前期末に比べ6,271百万円増加しました。これは主に、未払法人税等が減少した一方で、支払手形及び買掛金、短期借入金、長期借入金が増加したことによるものです。
- 3 売上高**
総合通販事業、専門通販事業が好調であったことに加え、プロパティ事業の不動産売却とホテルの増収が寄与するなど、前年同期比12.3%増となりました。
- 4 営業利益**
総合通販事業での増益に加え、店舗販売事業におけるアパレル店舗の収益性改善と和装店舗の増収効果により前年同期比34.5%増となりました。

第2四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 2016年4月1日～ 2016年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 2017年4月1日～ 2017年9月30日
3 売上高	66,679	74,863
売上総利益	37,469	41,678
販売費及び一般管理費	34,323	37,446
4 営業利益	3,145	4,231
営業外収益	850	1,643
営業外費用	4,798	343
経常利益又は経常損失	△802	5,531
特別利益	7	1,001
特別損失	200	512
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失	△995	6,021
法人税、住民税及び事業税	217	1,329
法人税等調整額	△379	370
四半期純利益又は四半期純損失	△834	4,321
非支配株主に帰属する四半期純損失	△6	△11
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失	△827	4,333

(百万円未満を切り捨てて表示しています。)

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 2016年4月1日～ 2016年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 2017年4月1日～ 2017年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,711	1,251
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,200	△7,212
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,378	2,674
現金及び現金同等物に係る換算差額	△495	34
現金及び現金同等物の増減額	△3,028	△3,250
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,211	16,165

(百万円未満を切り捨てて表示しています。)

詳細な財務情報は、当社Webサイト「株主・投資家情報」をご覧ください。

ベルーナ IR 検索

京都・祇園四条の好立地に
デザイナーズホテル「京都グランベルホテル」がオープン

当社のグループ会社である株式会社グランベルホテルは、7月14日に京都の祇園四条にデザイナーズホテル「京都グランベルホテル」をオープンしました。京阪本線「祇園四条駅」から徒歩2分、阪急京都線「河原町駅」からも徒歩7分という好立地に、珍しい地下客室を含む105の客室をご用意しました。「祇園の継承×日本クリエイティブ」をコンセプトに、古くからある“祇園伝統スタイル”と、今の日本が考える“クリエイティブ”をコラボレーションさせた新しい感覚のホテルです。観光やレジャーの拠点としてだけでなく、滞在そのものも楽しんでいただけるホテルとして、高まるインバウンド需要に対応いたします。



人気のプリーツワイドパンツと
ガウチョパンツをTV-CMで放送中

当社が展開する大人の女性向け通販「BELLUNA(ベルーナ)」では現在、「総プリーツデザインワイドパンツ」と「レーヨン素材プリントガウチョパンツ」の新TV-CM「うきうきガウチョ」篇を放送中です。いずれも市場価格の半額以下の990円と非常にお求めやすい価格を実現した人気商品。CMでは、音楽に合わせて軽快に歩く女性が登場し、「私も履いてみたい」と商品に親しみをもっていただけるような演出を心掛けました。



「ローヤルゼリーもっちりジェル」の
累計販売数が500万個突破！

当社の子会社である株式会社オージオが展開する化粧品通販「なちゅライフ」が2008年より販売しているオールインワンジェル「ローヤルゼリーもっちりジェル」が、シリーズ累計販売数500万個を突破しました。化粧水、美容液、乳液、化粧下地、うるおいパックの5つの役割を果たすオールインワンジェルで、“ひと塗り”で40種類の美容成分がすみずみまで浸透する手軽さや、高いうるおい力などがお客様に高く評価されています。



■ 会社概要

会社名	株式会社ベルーナ (Belluna Co., Ltd.)		
資本金	106億7百万円		
創業	1968年9月		
設立	1977年6月		
従業員数	1,858名(連結)		
事業内容	カタログ等による通信販売を核に、受託、金融、卸売等の分野で展開する通信販売総合商社		

■ 役員

代表取締役社長	安野 清	取締役 (監査等委員)	萩原 康雄
取締役	安野 雄一郎	社外取締役 (監査等委員)	渡部 行光
取締役	穴戸 順子	社外取締役 (監査等委員)	山縣 秀樹
取締役	生川 雅一		
取締役	下川 英士		
取締役	松田 智博		

■ 主な事業所

本社	(埼玉県上尾市)
本館	(埼玉県上尾市)
東京本部	(東京都中央区)
アネックスビル・第2アネックスビル	(埼玉県上尾市)
北関東オーダーレセプションセンター	(埼玉県鴻巣市)
川越オーダーレセプションセンター	(埼玉県川越市)
春日部オーダーレセプションセンター	(埼玉県春日部市)
吉見ロジスティクスセンター	(埼玉県吉見町)
領家丸山流通システムセンター	(埼玉県上尾市)
領家山下流通システムセンター	(埼玉県上尾市)
宇都宮流通システムセンター	(栃木県鹿沼市)

■ 株式の状況

発行可能株式総数	260,000,000株
発行済株式の総数	97,236,456株
株主数(除く自己名義)	7,976名

■ 大株主

	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社フレンドステージ	33,920	34.9
安野 清	10,434	10.7
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO)	7,400	7.6
常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行		
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,276	5.4
安野 公	2,914	3.0
株式会社三井住友銀行	2,246	2.3
野村信託銀行株式会社 (退職給付信託三菱東京UFJ銀行口)	1,968	2.0
ベルーナ共栄会	1,935	2.0
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,858	1.9
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口		
再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	1,546	1.6

※持株比率は自己株式(496株)を控除して計算しています。

■ 所有者別株式分布状況

金融機関	個人投資家	事業会社	外国人
19.7%	22.6%	36.1%	21.6%

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
配当金受領	期末配当金 3月31日
株主確定日	中間配当金 9月30日
定時株主總會	毎年6月下旬
基準日	3月31日
株式の売買単位	100株
公告の方法	電子公告の方法により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。 公告掲載 URL https://www.belluna.co.jp/irinfo/stock/announcement/

株主名簿管理人 特別口座の口座 管理機関	みずほ信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵便物送付先 および お問合せ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-288-324(フリーダイヤル)
上場金融 商品取引所	東京証券取引所市場第一部